

■川越親愛センター(令和2年度事業報告)

令和2年度経営方針

障害者総合支援法に規定する障害者支援施設として、積極的に障害施策の情報収集を行い、基準を満たす加算申請を行い安定した収入を目指す。利用者の生活の充実を図り、地域における福祉施設としての役割を果たす。

人材育成については、利用者の人権を尊重できる倫理観の高い職員の育成を図り、利用者、家族、地域から信頼が得られる安全で安心な質の高いサービスを提供する。

今年度は、法人の中長期計画にもとづき建物の外壁塗装工事を含めた施設整備計画の調査検討と準備を進めていき、老朽化した備品については更新または新規購入をしていく。

(1)施設入所支援 主に夜間帯の日常生活全般の支援を行う。

(2)生活介護事業 軽作業や日中活動等のサービスを提供する。

(3)短期入所事業・日中一時支援事業 在宅の利用者を対象に地域における福祉施設としての役割を十分認識し、家族が安心してサービスを受けられるようサービスの質の向上を目指す。

令和2年度取り組み

1 利用者支援

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 個別支援計画に基づく支援</p> <p>① 一人ひとりの思いや価値観を大切に、個人や少数単位での支援を行う。</p> <p>② 日中活動や買い物・余暇支援を行い、積極的に外出の機会を提供する。</p> <p>③ 意思を尊重した意思決定ができているか、会議等で確認する。</p> <p>④ 記録システムの見直しを検討する。</p>	<p>① 個別支援計画に基づき少グループでの支援を心がけた。</p> <p>② 新型コロナウイルス感染防止対策として、日中活動や余暇支援は、入所部、通所部と分かれての活動を行った。感染防止のために外出は控えた。</p> <p>③ 支援会議や連絡会議を通じて、利用者の意思を尊重できているか確認を行った。</p> <p>④ 記録システムについては法人内での統一が望ましいことから、先行導入した GH の状況を踏まえて見直しを行う予定である。</p>
<p>◆ 軽作業・余暇支援の提供</p> <p>① 軽作業・余暇支援等通じ精神面を含んだ健康の増進に努める。</p>	<p>感染対策のため、入所部と通所部は分かれて活動を行った。余暇支援は、感染防止の基本となるマスクの着用が困難なため、基本的には施設内で実施した。</p> <p>① (入所部)</p> <p>リサイクル活動を中心に、3 グループに分かれて活動を実施した。また、施設内や隣接するグラウンドでの余暇支援や、新たに音楽療法はリモートでのセッションを実施し楽しむことができた。</p>

<p>② 余暇支援等で作り上げた作品の発表の場を設ける。</p>	<p>(通所部)</p> <p>リサイクル活動を中心に、2 グループに分かれて活動を実施した。休日開所は感染状況を鑑みて緊急事態宣言中の実施を見送った。そのため、余暇支援については、平日に希望者のニーズに応じてドライブや散歩を定期的実施した。また、不定期ではあるが、季節行事や創作活動などの行事も企画した。</p> <p>② 支援説明会は8月11月と2回実施し、余暇活動で作り上げた作品を発表した。支援説明会が2回の実施のみとなり、利用者の日頃の様子を伝えるため、広報紙を作成し、ご家族に郵送することでとても喜ばれた。</p>
<p>◆ 高齢者の身体機能の情報を把握、共有し連携した支援</p> <p>① 利用者の健康状態に応じて随時会議を開催し状況を共有する。</p> <p>② 介護技術等の支援技術を習得する。</p>	<p>① 利用者の健康状態の把握に努め、1日2回の検温と健康観察を行い、健康状態に変化が観られた時は、看護師を中心に情報共有し、支援を行った。施設内にウイルスを持ち込まないことを基本とし、職員に新型コロナウイルス感染、まん延防止のための行動を促した。施設内は1日2回の館内消毒を実施した。</p> <p>② 計画を変更し、新型コロナ感染防止対策の予防や、感染を想定したシミュレーションを実施した。</p>

2 人材育成

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
<p>◆ 外部研修への参加</p> <p>① キャリアパス制度に則し、必要な業務教育の一環として職務に必要な研修を受講する。</p> <p>② 障がい特性に対応できる支援技術の習得に努め、専門性を高める。</p> <p>③ 視察見学を実施する。</p>	<p>コロナ禍のため、集合研修への参加を控え、オンライン研修を中心に参加をした。</p> <p>① 県社協等主催研修(オンライン) 9名 新型コロナ感染症予防関係(オンライン) 30名</p> <p>② 強度行動障害基礎研修 2名</p> <p>③ 新型コロナ感染対策視察訪問 1か所(2名)</p>
<p>◆ 虐待防止体制と意識の向上</p> <p>施設内では虐待防止研修を行い職員の意識改善を図る。外部研修へも積極的に参加する。</p>	<p>職員教育の一貫として、内部での虐待防止研修を階層別実施した。また、やむを得ず身体を抑える支援を行うときの手続きや、施設の方針を改めて確認し、職員に周知した。</p>

3 施設設備管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 設備の老朽化にともない必要な修理、整備 居住環境に留意し整備を行う。	老朽化に伴い、不具合が発生した設備の修理、整備を実施した。 ・食堂ドア改修工事 512,600 円 ・厨房ガスレンジ 385,000 円 ・居住棟内建具修理 308,000 円 ・談話室フローリング張替え 231,000 円 ・防災備蓄入替 75,700 円 ・非常灯交換 740,300 円 ・厨房機材保守 161,920 円 ・居住棟受話器アンテナ増設 248,800 円

4 危機管理

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 防災・防火訓練 ① 避難訓練を実施し、うち1回は夜間想定 訓練の実施。 ② 応急救護講習、水消火器訓練を行う。 ③ 防災計画と事業継続計画の更新、想定訓練を実施する。	① コロナ禍のため、消防署より消防隊は派遣されなかった。避難訓練は計画通り 5・9・10・3 月に実施した。消防立入調査の結果、作業班で使用している外テントが増築物と指摘があり撤去した。 ② 実施できなかった。 ③ 計画の更新は行ったが、想定訓練は実施できなかった。
◆ 安全運転管理 安全運転管理者を中心に安全運転に努める。	法人内での事故報告を共有し、事故防止の周知を行った。自動車学校での運転講習に 3 名の送迎運転職員を派遣した。

5 その他

◆具体的な取り組み内容 取り組み方法・手段	実績
◆ 地域社会との共生 ① 地域貢献を念頭に地域との連携を図ることで福祉拠点としての役割を果たす。 ② 実習生、ボランティアを積極的に受け入れ、障がい者の理解を深めてもらい、後進の育成に努める。	① コロナ禍のため、自治会等の地域活動の参加は自粛した。 ② コロナ禍のため、実習生やボランティアの受け入れは行えなかった。
◆ 情報公開 ホームページへの情報掲載、事業報告等の開示、事業所見学者の受け入れを行う。	余暇支援・行事等の様子をホームページへ掲載した。

■ 川越親愛センター（令和2年度事業報告 資料）

令和年 3 月 31 日現在

1 利用者状況

(1)障害支援区分(名)

支援区分	入所			通所		
	男	女	計	男	女	計
区分 6	20	10	30	9	6	15
区分 5	3	4	7	4	2	6
区分 4	1	2	3	2	1	3
区分 3	0	0	0	0	0	0
区分 2	0	0	0	0	0	0
区分 1	0	0	0	0	0	0
合計	24	16	40	15	9	24

(2)年齢構成(名)

区分 種別	性別	20 歳未 満	20 歳以 上 ~ 30 歳未満	30 歳以 上 ~ 40 歳未満	40 歳以 上 ~ 50 歳未満	50 歳以 上 ~ 60 歳未満	60 歳以 上	平均 (歳)
		(入所)	男	0	1	0	7	
	女	0	0	2	7	4	3	50.3
	計	0	1	2	14	11	12	52.3
(通所)	男	0	4	4	3	1	3	40.9
	女	0	2	1	2	1	3	47.8
	計	0	6	5	5	2	6	43.5

(3)通院・入院状況（回）

区分	科目	精神 科	内科	外科	眼科	耳 鼻 科	皮膚 科	整形 外科	婦人 科	歯科	その 他	計
		入所	2	37	27	0	1	2	18	2	99	
通所		0	24	0	2	0	0	1	0	0	0	27
入院	件	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	2
	日	0	18	0	0	0	0	49	0	0	0	67

2 事業所状況

(1)各事業の実施状況

事業名	定員(名)	平均利用人数(名)	利用率(%)
施設入所支援	40	37.7	94.2
生活介護	60	57.3	95.5
短期入所	3	1.1	36.6
日中一時支援	なし	1.46	

(2)ボランティアの受け入れ状況

受け入れ	延べ人数(名)	受入事業	延べ人数(名)
余暇・趣味	0	その他(理美容・施設体験ボラ)	18
行事活動(外出引率等)	0		
環境整備(掃除・洗濯等)	2	合 計	20

(3)実習生・研修生の受け入れ

区分	実習校等(か所)	人数(名)	延べ日数(日)
実習生	0	0	0